

## ～令和5年度 シニア学部神岡校 開催レポート 第4号～

### 【神岡校 第5回講座開催】

10月18日(水)に、シニア学部神岡校の第5回講座を神岡町公民館で開催し、39名に参加していただきました。今回は、東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設准教授の浅岡陽一氏から「わが町にでっかい施設ができるんやと」と題してお話いただきました。

冒頭から、東京の空に謎の顔の形の気球が浮かんでいるアート作品について紹介され、謎に出会うことで人はどう反応するのかというお話から、視点を変えること、常識とされるものを逸脱することが大切で、新たな謎や想像力に繋がっていくという話をされました。そして、そのように宇宙進化の解明と大統一理論の検証について研究に取り組んできており、現在はハイパーカミオカンデの建設を進めているということでした。

神岡で行われているニュートリノ研究の歴史について振り返ったり、研究の経緯について話してもらったりと、今神岡でどんなことが進められているのか知ることができました。

研究者の目線が捉える謎と研究内容についてお話を聞いた受講生は、難しくてわからない事ばかりではあったが、地元で行われていることに改めて興味を抱いた様子でした。

